

事業所名		沼津ドルフィン				支援プログラム（参考様式）		作成日		2025 年		11 月		25 日	
法人（事業所）理念		ひとりひとりの人生に寄り添い、幸せと成長を実現できる社会をつくる。社会の課題を自分ごとで捉え、チーム力とアイデアで解決を目指す。それぞれのライフステージにフィットする、地域密着のOne Stopサービスを提供する。													
支援方針		子供が「寄り添われ大切に荒れている」と感じる体験を重ね、自己肯定感と所属感を育むことを重視する。不適切行動を自己防衛と理解し、環境調整を最優先に安心できる場を整える。問題を消すのではなく、安心感の回復から行動変容を促す。支援者自身も自己理解と成長を重視し、一貫性ある支援を提供し、日常生活の中で出来ることを増やし、将来自立した生活を送ることが出来るような関わりを意識して支援を行う。													
営業時間		平日	10 時	0 分	から	19 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり（片道15分を想定しています。）					
		学校休業日	8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで							
		支援内容													
本人支援	健康・生活	掃除、手洗い、更衣、排泄練習などの基本的生活動作を習得する機会を設ける。買い物練習や持ち物管理を通して、自立に向けた生活スキルの向上を図る。マナーやルールを学び、社会生活の基礎を身につけられるよう支援する。心理技法：行動契約、選択肢提示、役割分担、視覚支援を活用し安心感を伴う習得を促す。													
	運動・感覚	トランポリン、プール、体幹トレーニング、公園遊び、散歩、球技などの活動を提供する。鬼ごっこや食具・ハサミの使用練習を通して、運動機能や感覚統合の発達を促す。心理技法：感覚統合アプローチ、成功体験の言語化、段階的スモールステップ。													
	認知・行動	SST、空間認知、文字・数字の課題、パズル・ブロックなどの活動を設定する。ごっこ遊びや外出体験を通して認知の偏りをリフレーミングし、新しい行動パターンを学ぶ。心理技法：認知再構成、ABC行動分析、強化スケジュール、視覚的構造化。													
	言語コミュニケーション	朝の会・帰りの会での司会、こども会議などで発表・対話の経験を積む機会を設ける。個別の特性に合わせてカード・イラスト・ジェスチャーを用い理解を補助する。心理技法：感情ラベリング、相互フィードバック、ミラーリング、スキヤフォolding。													
	人間関係社会性	SST、ルール・マナー体験、ごっこ遊びなどを通して社会的スキルを育成する。他児との関わりを楽しめる体験を提供し、成功体験を積み重ねる。心理技法：ロールプレイ、社会的強化、共感的応答、自己決定の尊重。													
家族支援		送迎時や定期面談で日中の様子を共有し、家庭との連携を強化。環境変化時にはモニタリングを行い、課題や成長を保護者と協働的に確認。心理技法としてリフレーミングや協働的問題解決を取り入れ、家族が安心して支援に参加できる関係を築く。また、行政や他事業所との連携も綿密に行い支援を密にしていく。							移行支援		学校や他事業所との情報交換を行い、進学・就労をサポート。地域企業での職場体験や金銭管理・家事スキル活動を通じて自立生活を準備。心理技法として自己決定支援や役割移行の準備を行い、安心感を伴う社会参加を促す。				
地域支援・地域連携		図書館や体育館など地域資源を活用し、活動内容をSNSやHPで発信。防災訓練や緊急時ネットワーク構築を通じて地域連携を強化。心理技法として社会的役割付与や動機づけを用い、地域参加を安心感と誇りにつなげる。							職員の質の向上		PDCAサイクルを実践し、資格取得支援やケースカンファレンスを定期的に実施。外部研修にも積極的に参加し、最新知識を取り入れる。心理技法としてリフレクティブ・プラクティスを活用し、支援者自身の自己理解と成長を重視し、一貫性ある支援を提供する。				
主な行事等		季節ごとの行事として、水遊び、クリスマス会、ハロウィン、端午の節句、ひな祭り、お花見、誕生日会を実施する。園芸活動ではサツマイモ掘り・ジャガイモ掘り・ミカン狩りなどの収穫体験を行う。外食体験で外出時の食事の楽しさを共有し、調理実習ではしっかりとした調理の練習を実施する。													